

## A. 主な動き

### 1. 内政

・29日、議会プレス・サービスは、議会次期会期は9月29日に、同常設委員会は9月23日に開始の予定である旨発表。

### 2. 経済

#### ▼マクロ経済

・28日、ドラグタヌ中央銀行総裁は、2012年GDP成長率が政府予測よりも深刻な数値になる可能性に言及、9月中旬に得られる予定となっている農業部門のデータも含めた2012年第2四半期GDP成長率の分析によって実際の経済情勢の把握が可能となる旨発言。現在、2012年GDP成長見通しについては、経済省及びIMFが3%、EBRDが2.5%、専門家がEUの経済低迷及びいくつかの内部要因のため0%と予測。2012年第1四半期のGDP成長率は1%。

#### ▼干ばつ

・29日、フィラト首相は、農業食品産業省に対し、9月4日までに現在の干ばつで影響を受けた実際の損害の最終評価

を終わらせるよう指示、モルドバが干ばつ被害の包括的な評価を出してから、外国のパートナーからの支援を得ること可能となる旨発言。

### 3. 外政

#### ▼カナダ議会代表団のモルドバ訪問

・29日、フィラト首相は、モルドバを訪問したカナダ議会代表団(アンダーソン天然資源省政務官他)と会談。両者はモルドバにおける潜在的投資分野の開拓や両国の特に農業やIT分野に重点を置いた経済関係に関し協議。

### 4. 沿ドニエストル

・27日、ティモフティ大統領は、モルドバ独立記念日に際し、その祝賀メッセージの中で、ドニエストル川左岸の住民に対し、繰り返し実証されているように90年代最初のドニエストル川両岸で発生した軍事衝突により両岸に居住する住民が憎しみを抱いたりする理由はないとし、左岸の住民に祖国はモルドバ共和国である旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)